

# 平成27年度酪農乳業食育推進研修会 アンケート集計結果

平成27年10月



一般社団法人 Jミルク  
Japan Dairy Association (J-milk)

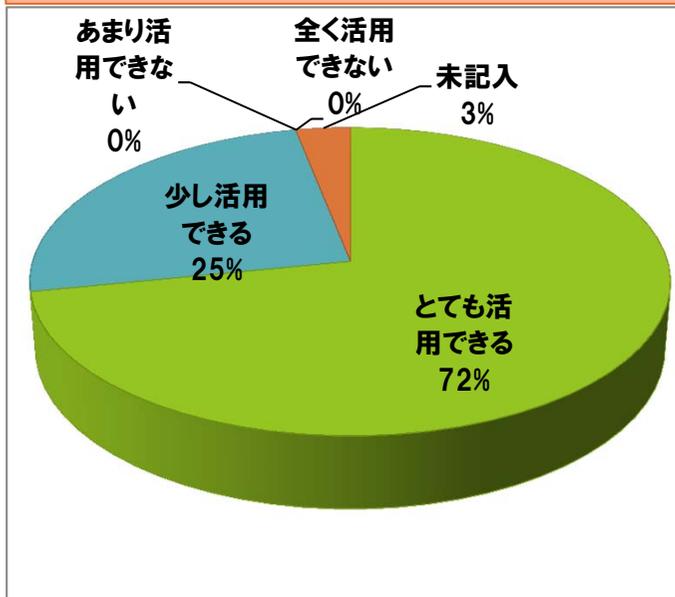
## プログラム

- 1.開 会14:00
- 2.主催者挨拶
- 3.講演:「牛乳を活用した味わい教育のすすめ」  
学習院女子大学 教授 品川明 先生
- 4.ワークショップ:「牛乳は生きている」を活用した食育活動の実践  
学習院女子大学 教授 品川明 先生
- 5.Jミルクの食育活動について(報告)
- 6.閉 会 17:00

## 出席者数

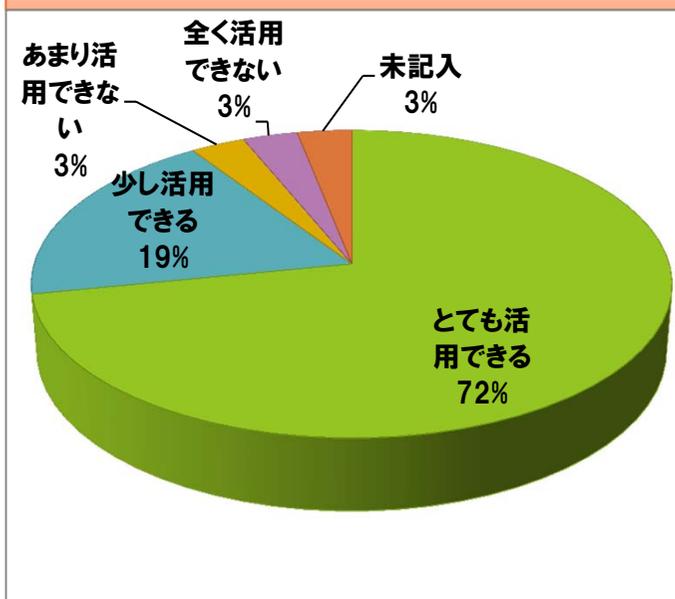
| 所属     | 参加人数 | アンケート           |
|--------|------|-----------------|
| 生産者団体  | 5名   | 32名<br>(回答率97%) |
| 乳業者    | 17名  |                 |
| 関係団体   | 5名   |                 |
| 大学等その他 | 6名   |                 |
| 報道関係者  | 16名  | —               |
| 講師・事務局 | 11名  |                 |
| 合計     | 60名  |                 |

**アンケート1 「乳和食の調理実習」について調理方法が今後の業務推進に活用できる内容でしたか**



|           | 人数 | 割合  |
|-----------|----|-----|
| とても活用できる  | 23 | 72% |
| 少し活用できる   | 8  | 25% |
| あまり活用できない | 0  | 0%  |
| 全く活用できない  | 0  | 0%  |
| 未記入       | 1  | 3%  |

**アンケート2 「Jミルクの乳和食コンテンツ」について乳和食を推進していくうえで活用できる内容であると思われましたか**



|           | 人数 | 割合  |
|-----------|----|-----|
| とても活用できる  | 23 | 72% |
| 少し活用できる   | 6  | 19% |
| あまり活用できない | 1  | 3%  |
| 全く活用できない  | 1  | 3%  |
| 未記入       | 1  | 3%  |

### アンケート3 講演・ワークショップで参考になった、または活用できると感じたかの自由記入

- ◆ 飲み比べを活用して考えてもらうことが大切だと感じた(複数)。出前授業やイベントの活動で実施できる。
- ◆ 今まで知識で飲んできたしてきた気がする。五感で感じる素直さが必要であると強く感じた。
- ◆ 味わうは味覚だけでなく、生体のこと味のこと社会のこと環境のことすべてにつなげてお話しできる可能性を知ることができた。
- ◆ 牛乳の飲み比べ。講演を伺い志向の根本が柔軟になった。豊かな食育活動の一助になった。
- ◆ 答えがない(決まった答え)感じさせる、考える問い。味比べの際の注意点。決まりきった発言をしない。一人ひとりの意見を大切にするなど。一方的な情報提供で終わらないということを再認識しました。
- ◆ 味わい教育という言葉素晴らしいと思います。食育の使命を再認識しました。教える授業ではない、考えることが重要だということ、一人ひとりの意見を大切にすることを改めて大切だと思いました。
- ◆ 考える教育。短い時間の中でどうしても多くの情報を与えたいと思うが、自ら考え体験することが大切だという教育の原点を確認できプログラムを見直す機会となりました。
- ◆ 情報や知識を一方的に発信や強要ではなく疑問を持たせてなぜ? どうして?と自分で考えることが大切。教科初等で知識を高めることだけでなく、実際に体験することが重要。
- ◆ 味わうことについてあらゆる意見を採用することの大切さを感じました。全員で感想を共有できる研修で楽しかった。
- ◆ 日々の食事において味わうことが重要であり、多様な違いを感じる大切だと感じた
- ◆ 答えを求めない授業、議論の大切さを知りました。しかし実践するには限られた時間、答えに対するこちらの反応をどのようにするのか等慣れるまで時間がかかり難いと感じましたが、トライしていきたい。
- ◆ 各人に意見感想を言ってもらい、それを聞くこと意見交換することが重要だと感じた。
- ◆ 食育には気づきや子どもからの自発的な意見・正解を求めない教育が必要ということが理解できた。
- ◆ こころで食べる。新しい視点での牛乳のあり方。大変参考になりました。
- ◆ 味の感じ方は本当に難しいと再認識。食べなれていないものが食べ慣れていると感じてしまうようなこともあるのだと思った。
- ◆ モーモースクールで講演時に体験することの重要性を伝えるべき、必要性があると感じた
- ◆ 子どもたちにどのように伝え、発想を自発的にするように仕向けるかすごく勉強になりました。
- ◆ 子ども(幼稚園・小学生)に対する教育についてのアプローチの仕方について大変参考になった。
- ◆ 色々な牛乳・乳製品の味比べで感じたことを話し合うことで人それぞれの完成が分かりやすいと思った。
- ◆ 牛乳の飲み比べにはいろいろなもので試すことができる。殺菌温度、ノンホモ、温度、品種など。また、どちらが好きの次にはどんな味がするのかも大切。その味も五感を使って口の中ではなく見た目、臭い、舌触りも大切であり、今度はそのことを取入れて食育授業のできれば思いました。
- ◆ 普段口にしていないものの方がおいしく感じることに、また、それがヒトによって違うことを改めて感じた
- ◆ 小学生の食育を担当しているが、現場ですぐに実践できる内容で勉強になった。
- ◆ 今行っている食育活動、気づきを与える結論を言わない授業はやり方として間違っていないと思いました。
- ◆ 教育の現場色ではありませんが、牛乳の殺菌方法によって違いがあるのは分かっているにもかかわらず実際に飲み比べをしたことがなかったの、同じ牛乳でも違いがあることが知れて参考になった。(ジャージーとホルスが特に)
- ◆ 食を味わうということを非常に詳細に教えていただいた。日頃何も考えずに食べていた点に反省させられました。
- ◆ 見たことのないパッケージの牛乳をテイスティングという形で味わうことができ興味深い内容だった。これほど細かな比較はしたことがなかった。少し連続で舌がくたびれたが楽しく感じました。

## アンケート4 酪農乳業で牛乳乳製品を活用した食育を推進するための必要な情報やツール

- ◆ 「牛乳は生きている」の冊子は非常に強力なツールであると思います。これに準じた刷新の第2弾改訂をお願いします。
- ◆ 牛乳の生産・流通・消費の事情、全体を通じた情報共有、勉強会があればいいと思います。
- ◆ 簡単にできる体験学習アイデア
- ◆ ひふみよいむなやことの酪農版があるといいのでは
- ◆ 研修会が楽しい。料理講習会、コンテスト
- ◆ 牛乳は牛からいただくものということで、牛の生態について子どもたち(大人も含めて)楽しく分かりやすく知ることができるツールがあると良い。牛の等身大の布を使っていますが評判が良い。
- ◆ 小中学生は風味関連ツール。高校生はミルク給食用ツール(大阪から西の地域対象)
- ◆ 牛乳を飲まない子供が増えているのでさらに味わう教育を進めていただければ幸いです。
- ◆ この様な体験をやるのが重要かと思いました
- ◆ 実際に牛等を見られない場合、実物大のポスター等実感がわきやすい子どもたちが想像しやすい状況づくり。
- ◆ 今までもやれているが、分かりやすく情報をまとめた公式サイトでPDFダウンロードはどんどんやったほうが良い
- ◆ 給食における牛乳の必要性についての資料
- ◆ この様な研修会のお知らせや食育活動例など体験をもっと知りたい
- ◆ 目で見るさわれる五感を刺激するツール
- ◆ 「牛乳は生きている」の冊子の活用
- ◆ 今回いただいた冊子は必要な手続きなくインターネットから見るができるようで、身近なツールになっていいと思う。
- ◆ 食育をするに当たって食品に様々な選択肢がある中、牛乳をテーマにする必然性がある理由や情報があるかという点を考える必要がある。例えば食育で酪農家が話をする場合、畜産農家等と違う差別化点がなければ酪農や牛乳をテーマにする必要性が薄くなってしまうと思う。

## アンケート5 Jミルクの食育に関するコンテンツや研修会へのご要望等

- ◆ 今日のような体験型はおもしろいと感じました。
- ◆ 体験し感じることを取入れた研修の重要性を感じました。
- ◆ 情報をメールマガジンで流してほしい
- ◆ 東京での開催なので関東の牛乳を使ってほしかった。次回の開催時にぜひご検討を！
- ◆ 今回のように出席したみんなが一緒に楽しめる研修で良かった
- ◆ 今回の「教える」視点での食育研修は大変有効かと思いました。食育者の資質向上はこれからの食育を進めていくためには必要だと思いました。
- ◆ 今後も研修会など情報交換の場を頂けると勉強になります
- ◆ 今回のような食育そのもののあり方を考える研修会であればぜひ参加したい
- ◆ 今までの講師の先生とはだいぶ変わった視点からの講演で初めは乗りづらかったが、味について非常に進んだ先生で大変勉強になりました。
- ◆ 今回のような研修会で牛乳に対する子どもたちの親近感も近いものになり良いと思う。



講演:「牛乳を活用した味わい教育のすすめ」 学習院女子大学 品川明先生



ワークショップ:「牛乳は生きている」を活用した食育活動の実践 学習院女子大学 品川明先生